

★☆☆『私の撮っておき写真コンテスト』結果発表★☆☆
～入賞作品～

投票の結果、各部門で以下の作品が選ばれました。

【三島町部門】



タイトル：「そして未来へ」

氏名：星 賢孝 様

エピソード：生活工芸館周辺の雑木林で、子供達が木登りに歓声を上げていた。震災で疲弊した現状を打破するかの如く、未来に向かって懸命にチャレンジする姿に頑張れと念じながらシャッターを切った。

【古写真部門】



タイトル：「三島大橋～西方と宮下をつなぐ橋～」

氏名：小柴 芳夫 様

エピソード：橋の工事風景。

【携帯スナップ部門】



タイトル：「家族」

氏名：栗城 浩美 様

エピソード：天国に旅立った家族たち。左側のチビ（母）と右側のピース（娘）。

三島町部門では以下の2点が同じ票数でしたが、今回は未来に向かってがんばっていきましょうという気持ちをこめて、上記の作品を選ばせていただきました。

【三島町部門】



タイトル：「厳寒の夜空の大輪」

氏名：星 賢孝 様

エピソード：雪と火のまつりを象徴する御神火と冬の花火が厳寒の夜空を焦がしている。冴え冴えと美しい光景は何度見ても飽きることがない。



タイトル：「元気の素」

氏名：栗城 浩美 様

エピソード：ゴールデンウィークに柳津にお参りに行って、団子を食べたときの思い出。

このたびは、入賞されました星賢孝様、小柴芳夫様、栗城浩美様、本当におめでとうございます。ご応募くださった皆さま方も本当にありがとうございました。

今回の写真コンテストは、町内だけでなく県内、県外からたくさんのご応募があり、合計76点の作品が集まりました。その中で上記の作品が選ばれましたが、どの作品が入賞してもおかしくないすばらしい作品ばかりで、投票してくださった方々も、写真を見ながら昔のことなど思い出したり、写真を見ながら楽しそうにお話され、とても迷いながら投票していらっしゃいました。写真とは映像にはないその一瞬を残し、その一瞬から様々な思い出を運んでくれます。1枚の写真から、いろいろな出来事を思い出させてくれたり、家族や友人、いろいろな人との会話のきっかけにもなる、とても素晴らしいものだと思えました。

昨年は東日本大震災という大変大きな出来事がありました。甚大な震災被害により、いまだ元の生活には戻れない人たちもたくさんいらっしゃいます。心には大きな傷が残り消えることはないかもしれませんが、良い思い出も悪い思い出も、その時の思いを忘れないためにも、これからのその一瞬一瞬を写真に残してみませんか？20年後30年後、その写真を見ながら大切な人たちと楽しかったこと、うれしかったこと、悲しかったことなどを思い出しながら、笑顔でお話できていたら良いですね。

いまの子どもたちにとって明るい未来が訪れますように・・・